

# 隣保館だより

つなごう手と手  
築こう心の架け橋を

4月号 No.334 [21.4.1発行]

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ

## 組織改革によって総合隣保館が変わります

4月から、これまで教育委員会で実施していた人権教育が、市長部局（市民ふれあい部人権推進課）に一元化、総合隣保館を充実し、人権教育、人権啓発を一体的に推進します。

現在、これまで実施していた総合隣保館事業は、下記のとおり計画していますので、多数の方のご参加をお待ちしています。新たな事業計画については、今後お知らせいたします。

事業名	日程
同和教育セミナー	6月26日（金）、7月4日（金）・11日（金）
人権フォーラム	10月20日（火）・23日（金）・27日（火）
総合隣保館文化祭	12月5日（土）・6日（日）

また、教養文化講座も引き続き実施し、教室生も随時募集していますので、ご希望の方は、82-8388までお願いします。

教室名	日時	講師
習字教室	第1・3木曜日 19:30~21:30	井上進さん
茶道教室	第1・3土曜日 9:30~12:00	杉本さわゑさん
着付教室	第2火曜日 19:00~21:00	小西修子さん
手芸教室	第2・4木曜日 13:30~15:30	嶋田千津子さん
歌謡教室	第2・4月曜日 13:30~15:30	黒田和彦さん



# 人権の小窓 ( 83 )

平成21年4月

## 「私の大切な一冊 ～女性の視点から差別を考える～」

兵庫県立大学准教授 阿久澤麻理子

1冊の本を紹介したい。『シェイム(恥)』——英国のインド人コミュニティに生きる一人の女性の半生を綴った実話である。著者は1960年代半ば、インドから労働者として渡英した両親の下に生まれた移民二世。異国で同胞たちが支え合う、インド人コミュニティで暮らしていた。

しかし、その強固な結びつきとイギリス社会からの隔絶ゆえに、そこにはインド社会の伝統や文化的慣習も残されていた。その一つが「強制結婚」である。少女たちは15歳前後になると、学校の長期休暇の間に家族旅行に行くからと国外に連れ出され、親の決めた相手と結婚させられていた。相手は、ヨーロッパ在住のインド人や、インドやパキスタンの男性の場合もある。少女たちは、学校から姿を消し、友人との絆を断ち切られてしまうのだ。拒否すれば家族から監禁されるし、好きな相手と交際すれば、交際相手が家族から報復されてしまう。

主人公ジャスも、ある日家族から、結婚を告げられるが、見知らぬ相手との結婚を受け入れられず、監視をかいくぐって、以前から心を寄せていた友人の兄と駆け落ちする。家族は慣習を破り、家族の名誉を傷つけた娘と一切の縁を切るが、理由はそれだけではなかった。高カースト出身の娘が、「アウト・カースト」の男性と駆け落ちしたことを、家族は二重の「恥」だと受けとめたからである。

その後、若い二人は極貧の暮らしから市場での行商で成功し、一軒家を手にするまでになる。しかし、純粋に彼女を支えようと、まじめに働くだけの夫をジャスはやがて疎ましく感じるようになる。それはジャスが、断ち切られた家族との強い絆の代償を、男性との激しい愛情関係に求めたからであった。時間と共に燃えるような感情が薄らぎ、単調さを増す関係に失望し、ジャスは別の男性に思いを寄せるようになる。しかし、強い愛情と支配の境界はあいまいだ。ジャスはこの男性から激しい暴力を受けるようになって二人は破たんする。そして次の男性との結婚もまた、夫の不倫によって、別離に至る。彼女は3人の子どもを抱えるシングルマザーとなった。

家族から断ち切られた痛みを、男性との親密な関係で埋め合わせようとして、男性からの精神的・肉体的暴力も引き受けてしまっていたジャスであったが、ようやく自分の

足で歩みはじめる。家出で中断したハイスクールを再開して卒業、あこがれの大学にも入学する。そして、学ぶことによって自分の個人的な経験を、社会的な文脈のなかで読みとくことができるようになったジャスは、自分と同じ境遇にある南アジア出身の女性たちを支援したいと感じるようになった。

周囲には苦しむ多数の女性がいた。結婚生活で暴力にさらされながら、そこから抜け出せない女性たち。離婚をすれば暴力からは解放されるが、伝統を裏切れば自分の家族から縁を切られる。このことは、家族に強い愛着を強く持つアジア人にとって、異郷の地で暮らす移民女性にとって、何よりも耐えがたいことであった。そのため、多くの女性は子育てにわずかの希望を見出し、その状況に耐えていた。しかし中には、あまりの絶望のために自死を選ぶ者もいた一夫の目の前でガソリンを浴び、自らの身体に火を放ったジャスの姉のように。こうしてジャスはふるさとの町の一角に「カルマ・ニルヴァナ」—強制結婚やドメスティック・バイオレンスなどから、逃れてくる女性たちに、相談やカウンセリング、シェルターを提供する施設—を立ち上げた。

インドと日本、英国と日本では、女性をとりまく環境は異なる。しかし、そうした違いを超えて、アジアの女性たちの経験や思いの共通性を本書は教えてくれる。移民二世の女たちが、イギリス社会で成長し身につけた、人間の尊厳への渴望と自立への欲求、それゆえに引き起こされる慣れ親しんだ伝統・文化、家族との葛藤は、人権という思想が浸透するほどに、女性が直面する課題を示しているようでもある。

一方、本書のもう一つのテーマはカースト差別である。ジャスの家族は、彼女が伝統を拒否しただけでなく、アウト・カーストの男性と結婚したことに対して、二重の怒りと謝絶を突きつけた。家族はジャスを「けがれた」存在と扱い、母の葬儀の際にも、そのなきがらに手をふれさせない。新しい夫の家族も、ことあるごとにジャスの長女を「あの、アウト・カーストの娘」と表現する。ジャスはそのことに悲しみ、憤っている。

本書では、イギリスという西欧社会で現代的生活を営む人びとがなお、カースト差別という共同幻想に決別でないまま生きる現実を描いているが、差別は、伝統と文化による抑圧を受ける女性たちを、より複雑な立ち位置におしやっている。女性が女性という立場から、差別に向き合い、男性とは異なる体験の意味を問い、歩いていくプロセスは、伝統や文化の中の差別を変えていくために、大切なことであるように思う。

#### 【阿久澤麻理子さんプロフィール】

「人権教育」は研究と、人生のテーマとして、兵庫県立大学環境人間学部准教授として活躍されています。主な著書として、「人権ってなに？ Q&A」（共著）、「人はなぜ権利を学ぶのか フィリピンの人権教育」などがあります。

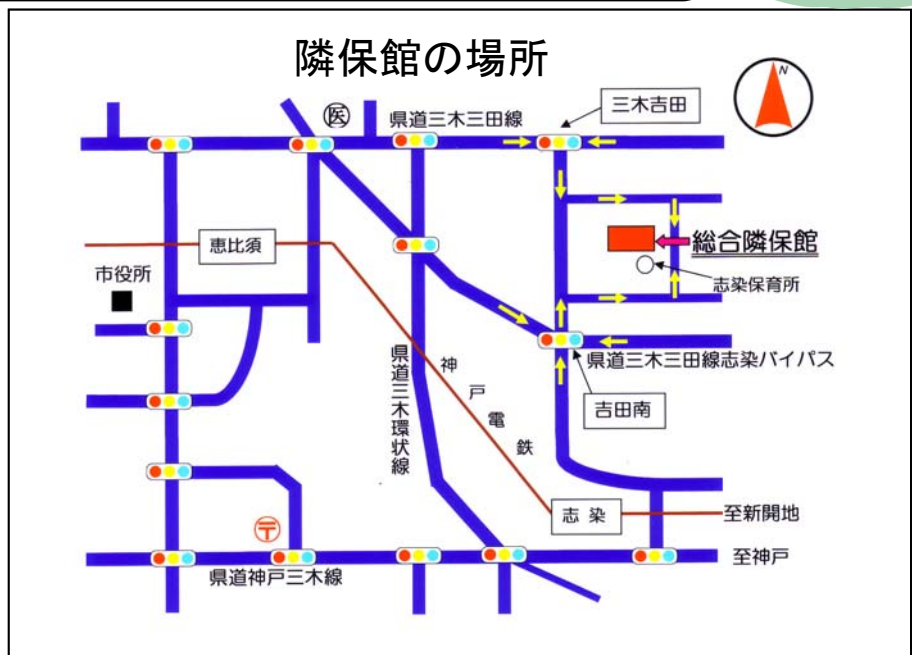
# 隣保館カレンダー 4月

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	水		17	金	経営相談
2	木	習字	18	土	茶道
3	金	経営相談	19	日	休館日
4	土		20	月	
5	日	休館日	21	火	経営相談
6	月		22	水	
7	火	経営相談	23	木	手芸
8	水		24	金	経営相談
9	木	手芸	25	土	茶道
10	金	経営相談	26	日	休館日
11	土		27	月	歌謡
12	日	休館日	28	火	経営相談
13	月	歌謡	29	水	休館日、昭和の日
14	火	経営相談、着付	30	木	
15	水				
16	木	習字			



◎着付は午後7時00分～ ◎習字は午後7時30分～  
 ◎手芸・歌謡は午後1時30分～ ◎茶道は午前9時30分～

総合隣保館は、すべての市民のしあわせを願い、同和問題をはじめとした、あらゆる差別をなくし、福祉の向上を図るため昭和56年（1981年）4月に開館した社会福祉施設です。



# 隣保館だより



5月号 No.335 [21.5.1発行]

三木市立総合隣保館 TEL82-8388 Fax82-8658  
〒673-0501 三木市志染町吉田 823

ホームページアドレス 三木市 (<http://www.city.miki.lg.jp/>) 施設ガイドから総合隣保館のページへ

人権・同和問題啓発資料 No.27  
しあわせに生きる



三木市立総合隣保館

## 啓発資料

### 「しあわせに生きる」

啓発資料「しあわせに生きる」を作成しました。平成20年度の総合隣保館文化祭での記念講演や人権フォーラムでの発表内容の一部を収録しています。自己啓発や学習会の教材等にご活用いただければ幸いです。

ご希望の方は、総合隣保館までご連絡ください。無料にてお渡しいたします。(数に限りあり)



## 総合隣保館新たにスタート!

新たに総合隣保館が人権教育・啓発の拠点となりました。館では啓発ビデオ、冊子、図書等人権研修の資料も多数取り揃えておりますので、人権教育・啓発に関すること、あるいは人権にかかわる諸問題など、お気軽にお問い合わせください。

総合隣保館をより身近で、気軽にいつでも立ち寄っていただけるようなコミュニティ施設となるよう職員一同新たな気持ちで取り組んでまいります。本年度も人権にかかわる情報発信をしてまいりますので、多数のご来館をお待ちしております。

# 人権の小窓 (84)

平成21年5月

## 「禍を転じて福に」

元三木市人権啓発専門員 田中 蔚

「禍福はあざなえる縄のごとし」という  
人はなんらかの禍から逃れることは出来ない  
さればその禍を福に転ずるのみ  
そして人は気構えによって禍を福に昇華出来ることを悟った

被差別部落の貧乏百姓に生まれた私  
母はわが食べ物を削ってでも学を身につけさせたいと願った  
光らびし袂に汗を拭いつつ  
筵手折りし垂乳根の母

6年生の担任、宮田先生が奨学資金の手続きで小野中学（現小野高校）  
に進学させてくれた月5円の奨学金(当時の授業料か交通費に相当)が私をささえた  
九つの科目に一つでも欠点があれば奨学金が打ち切られるとあって必死で勉強した  
こっそり藤村の「破戒」を読み劣等感にさいなまれながらも教師道に励む中で  
「教師として私は決して人後に落ちない」の自信と誇りを持ち  
部落に生まれたが故に人の痛みが分かり、人の道を悟りえた  
被差別部落に生まれたことに誇りさえ持てた

戦争で負傷した右足首が六十年を経て化膿した  
入院、通院で健康の有り難さを知り、テニスの壁打ちで足腰の衰えを防いだ  
傷痍年金が生活にゆとりをくれる

26歳で空に散った娘、愛子  
〇〇中学2年の時、本名でなく、賤称語で名前を呼ばれている友を見て  
「私は人に後ろ指指されまい。己を磨くのだ」と心に刻んだ  
「一日一生涯」は卒業時のアルバムの寄せ書き

「今、光っていたい」は死の前に言い遺した言葉である

知り合ったMさん父子にわが出自を語り婚約した直後、夢やぶれて逝<sup>い</sup>ってしまったが  
その生き方は教材として今も全国の教室で語り継がれて若者の心に生きる  
あれから24年経ったこの3月、今治市の長本校長さんが退職記念に最後の授業とし  
て「今、光っていたい」の教材を卒業生に贈っていらっしゃる  
死んだけれど娘は生きている

愛子の遺体捜しで妻は自律神経失調症となり  
私は耳が遠くなり始めて今では電話の対応にも事欠くようになった  
全国の講演行脚に妻が補聴器がわりで付き添った  
先を歩く妻の後を付いていけば会場に着けた、会場に着くと妻は私の後に回った  
「今からが本当の余生よ」と漏らしながら、ある日、突然に逝ってしまった妻に  
私が贈りえたものはたった一つ  
旅好きの妻に全国の名所旧跡を訪ねうる機会を贈れたこと

「他人の喜びをわが喜びに生きた母」と長女はいう  
迷った時、「母ならどうするか」を生活の物差しに生きる子どもたち  
沢山の人々に行き方の道しるべを遺して妻は逝った  
6人の子宝に包まれて私は今、八五歳を生きている

もろもろの悲しみを喜びに  
苦しみを楽しみに転じ  
怒りを恕(ジョ、<sup>かんじょ</sup>寛恕～広い心で人を許す)に  
憎しみを愛に昇華して生きたい



<sup>うし</sup>(丑年、不況のしわ寄せで仕事と住まいを奪われて寒空にさ<sup>まよ</sup>迷う人々をしのびつつ)

【田中 <sup>しげる</sup> 蔚さんプロフィール】

市内小学校長を歴任、平成13年度まで同和問題啓発専門員（現：人権啓発専門員）として活躍。主な著書として、「今、光っていたい」「心を育てる同和教育」などがある。

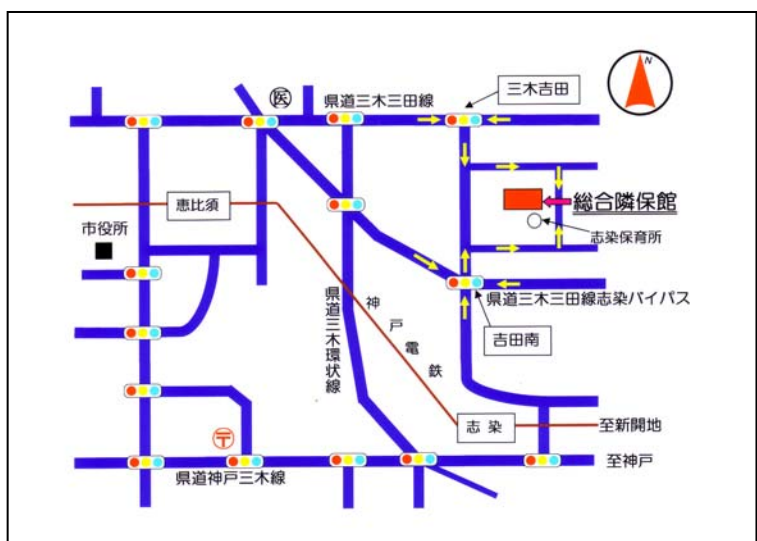
※田中蔚さんは、昭和60年8月12日の日航機墜落事故で最愛の娘さんを亡くされました。その娘さんへの思いなどを著書「感性に訴える同和教育（明石書店）」に綴られております。

# 隣保館カレンダー 5月

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	金	経営相談	17	日	休館日
2	土		18	月	
3	日	休館日	19	火	経営相談
4	月	休館日	20	水	
5	火	休館日	21	木	習字
6	水	休館日	22	金	経営相談
7	木	習字	23	土	茶道
8	金	経営相談	24	日	休館日
9	土	茶道	25	月	歌謡
10	日	休館日	26	火	経営相談
11	月	歌謡	27	水	
12	火	経営相談、着付	28	木	手芸
13	水		29	金	経営相談
14	木	手芸	30	土	
15	金	経営相談	31	日	休館日
16	土				

◎着付は午後7時00分～ ◎習字は午後7時30分～  
 ◎手芸・歌謡は午後1時30分～ ◎茶道は午前9時30分～

総合隣保館は、すべての市民のしあわせを願い、同和問題をはじめとした、あらゆる差別をなくし、福祉の向上を図るため昭和56年（1981年）4月に開館した社会福祉施設です。



## 《お詫びと訂正》

隣保館だより4月号掲載、同和教育セミナーの日程におきまして誤記がございました。お詫び申しあげますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

（訂正）同和教育セミナー開催日：6月26日(金)、7月3日(金)・10日(金)



# 隣保館だより

つなごう手と手  
築こう心の架け橋を

6月号 No.336 [21.6.1発行]

三木市立総合隣保館 TEL82-8388 Fax82-8658  
〒673-0501 三木市志染町吉田 823

ホームページアドレス 三木市 (<http://www.city.miki.lg.jp/>) 施設ガイドから総合隣保館のページへ

## 同和教育セミナーのご案内

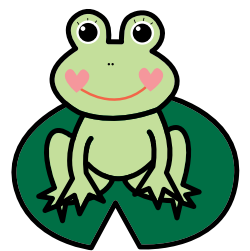
手話通訳・要約筆記があります。



昨年度の様子

広く皆様に人権・同和問題を正しく理解し、一人ひとりが自らの課題として受け止め、主体的に取り組んでいただくことを目的に、平成21年度の同和教育セミナーを下記により3回開催します。

多数のご来場をお待ちしております。



**第1回** と き：6月26日（金）午後7時30分～9時30分

ところ：三木市立教育センター

テーマ：「いま、われわれがすべきこと一部落問題と関わって」

講師：ルポライター・大学講師 西田英二さん

**第2回** と き：7月3日（金）午後7時30分～9時30分

ところ：吉川町公民館

テーマ：「私らしく生きる!!～つながることからみえてきたもの～」

講師：三田市同和教育研究協議会会長 大東真弓さん

**第3回** と き：7月10日（金）午後7時30分～9時30分

ところ：三木市立教育センター

テーマ：「多世代交流広場 スマイルひろばの取り組みームラの歴史をとおしてー」

講師：スマイルひろば地域推進委員会事務局長 細見義博さん

「共生社会の基盤は人権意識 人権感覚は生活環境の中で養われる」

元吉川町教育長 長谷川 義雄

「幸せに生きたい」という人類<sup>ふへん</sup>普遍の願いは、基本的人権である自由、平等、生命身体<sup>かな</sup>の安全の保証無くしては叶いません。

第二次世界大戦後、共産主義と自由主義が対立し、冷戦が続きました。1880年代になって共産主義が掲げた平等社会は、人々の求める幸せに程遠いもので内部より崩壊しました。その後は自由が実現するかと期待されましたが、民族間紛争や宗教や異なる文化価値観による対立が後を絶ちません。

一方経済面では、人類<sup>はんえい</sup>の繁栄は自由化のほかないと言われ、自由化一色になりました。しかし、一部の投資集団が資源から食糧に至るまでマネーゲームの対象にしました。その結果は、金融不安、世界不況を引き起こし、我が国も企業倒産、工場閉鎖、そして従業員の解雇、多くの失業者を生んでいます。平等社会、自由経済は共に不成功に終わりました。

人権という考えは理不尽な仕打ちを告発し、それと戦うために発明されたと言われています。この発想が実を結んだ最初のケースは「アメリカ独立宣言」です。当時アメリカはイギリスの植民地で、一方的に好きなように課税するイギリスの圧政を脱するため「人間はすべて、自由で平等で安全な生活をすべきである」と告発し、闘いを正当化するために論理として闘<sup>たたか</sup>いました。13年後の「フランス人権宣言」も抑圧的な国王を覆<sup>くつがえ</sup>すフランス革命の中で出されました。1948年には「世界人権宣言」を国連が採択しました。ところが「アメリカ独立宣言」は白人のためのもので先住民や黒人には適応しませんでした。「フランス人権宣言」も男性の為のもので女性参政権やベトナム植民地解放も戦後にやっと認められました。この様に人間は、貧しい時必死で這い上がろうとしている間は、平等を求めるが、一旦成功すると平等主義に反対すると言われています。人権という考え方は、時代や状況が変わ

っても宣言し続けることによって存在するものだと思います。

若い頃、社会学の先生から国家は強制の原理、社会は競争の原理、家庭は愛情の原理で動いている。国家や社会は家庭の代わりはできない。また、家庭内で比較し、競争させると家庭が家庭でなくなる。家庭は、どんなことがあっても受け入れ、見放さない愛情に包まれたところであってなければならない。と言われたのを、ことあるごとに思い出します。

人は皆幸せに生きたいと願望し、幸せを求めて行動しますが、自分は幸せだと感じている人は意外と少ないようです。幸せは量ではなく質であり、広さではなく深さと奥行きです。高価な服より親が心を込めて編んだセーターを着たほうが幸せを感じるように、愛情に満ちた家庭生活が人権感覚を養うのに欠かせない存在だと思います。愛情に満ちた家庭では“生命”を一番大切に考えられています。顔色や食事や動作などに異常があれば声をかけ、良いことがあったら家中の喜びにされているようです。

家庭内でも相手を理解することは至難の業です。私は若いときにピストルの音から耳鳴りと難聴になりました。高齢化と共に一層悪化し、今では小さい声や音が聞き取れないことがあります。集中して聞かないと聞き漏らしてしまうような時は他の音を遮断しているのか大きい声でも聞こえません。妻は「これが聞こえへんの」と言いますが、あまりいい気分ではありません。お互いにこんな事が多いのだと思います。民主主義は多数決で決めます。多数の強者の論理が基本です。人権は少数の弱い立場の意見を大切にすることが根本です。良い家庭は弱者を大切にしています。

非正規雇用、食の安全、外国人と就労、環境悪化、DV、ホームレスなど現在社会の中の少数弱者救済は国や社会にだけ頼ってはいけません。身近な自分にできることから取り組みたいものです。

#### 【長谷川義雄さんのプロフィール】

旧吉川町の小中学校校長を歴任、元吉川町教育長



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	月		16	火	経営相談
2	火	経営相談	17	水	
3	水		18	木	習字
4	木	習字	19	金	経営相談
5	金	経営相談	20	土	
6	土	茶道	21	日	休館日
7	日	休館日	22	月	歌謡
8	月	歌謡	23	火	経営相談
9	火	経営相談	24	水	
10	水		25	木	手芸
11	木	手芸	26	金	経営相談、同和教育セミナー
12	金	経営相談	27	土	茶道
13	土		28	日	休館日
14	日	休館日	29	月	
15	月		30	火	経営相談

※習字は午後7時30分～、手芸・歌謡は午後1時30分～、茶道は午前9時30分～



### お知らせ

- ★本年4月から、木・金曜日の夜間は、利用予約がない場合は午後5時をもって閉館させていただきます。
- ご利用される場合は、利用日の3日前までにご予約をお願いいたします。
- ★来月、7月1日（水）から隣保館の使用料が有料になります。

# 隣保館だより

7月号 No.337 [21.7.1発行]

つなごう手と手  
築こう心の架け橋を

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ



## 隣保館子ども 教室始まる！！

今年は工作に加えて  
植物を育てようと  
ゴーヤ・米作りに挑戦  
しています！



6月13日(土)にバケツにコシヒカリの苗を植えました。  
(通称、バケツ稲といわれるものです)

「お家の田んぼの土とちょっとちがう！」「おれ、田植えしたことある！」など  
子ども達の明るい声が響きました。

稲もゴーヤも子どもたちの元気さに負けないように、ますます暑くなる夏に向  
かって元気よく育ててほしいものです。

是非一度、隣保館のゴーヤとバケツ稲を見に来てください。



## 同和教育セミナー開催中

日時	会場	テーマ	講師
7月3日(金)19:30~21:30	吉川町公民館	私らしく生きる！！ ～つながることから みえてきたもの～	大東真弓さん
7月10日(金)19:30~21:30	教育センター	多世代交流広場スマイル ひろばの取り組み —ムラの歴史をとおして—	細見義博さん

## 「障がい者の人権 ー障がい者の親として感じることー」

「じゃがいもの家」 片山 操代

我が家の二男は知的障がい者です。「ダウン症」という病名の上に合併症が多く、手術や入退院を繰り返し療育を重ねて大きくなりました。子育ての過程では医療関係の方はもちろん、行政・学校関係・地域の方などに感謝の連続でした。

二男の誕生により私自身の意識も変わりました。家族の役割・生きること・働くことなどをいつも考えさせられています。

社会の情勢も変わりました。二男の生まれた21年前と比べると法律も変わり、日々の暮らしでも「障害者」のことばを多く目にし、耳にします。「害」ではないとの思いから、最近は「障がい者」の文字も多く見かけます。

嬉しいことですが、「障がい者」ということばを理解しようとするのではなく、年齢も性別も個性も違う一人の人間としての障がい者を理解して頂くために、今私が関わっている「じゃがいもの家」の一部を紹介させていただきます。

小規模作業所「じゃがいもの家」は、緑豊かな三木市口吉川町にあります。地域の方に見守られながら設立10年目を迎えます。今年度は知的障がいを持つ12名の人たちが、家族の送りや自力（電車やバスを乗り継いで）で通っています。作業はクロスステッチを中心とする手芸製品作りや、木工での小物作りです。季節の野菜を栽培する農作業や切干大根などの加工作業もあります。手作りの製品や農作物・加工製品は、いろいろなイベントなどで販売をします。販売も仕事のひとつです。

じゃがいもの家では、「手間のかかる仕事、大歓迎！！」です。作業工程が多いと関わる人も多くなります。根気の要る仕分けや研磨作業が得意な人、感性の要る仕上げに向いている人などなど、それぞれの個性を生かして取り組むことができます。取り組む段階を細かく設定し、簡単な作業から少しずつ複雑な作業へと個々の力を伸ばしていきます。何度も注意を受けてはトライしていく根気良さは彼らの生き方そのものです。作業中は笑顔ですが無口です。段階は小さくてもそれぞれの達成感は大きなものがあります。

午前中の作業時間が終わると昼食の時間です。手の洗い方もちょっと個性が出ます。箸の持ち方やスプーンの扱い方など、食事の仕方は更に個性的です。普通は子育ての時期に知らぬ間に身に付く生活習慣も、障がい者（児）たちは、健常者に比べるとはるかに長い時期をかけて工夫を重ね、身に付けることが多いのです。専門家の訓練を受ける人も多いです。動作の一つ一つは、本人と家族の長い努力の最高傑作の姿です。

午後の作業を終えてからの楽しみは、余暇活動です。スポーツ、散策、ゲームなど過ごし方はいろいろですが、作業時とは一味違う人柄の表れる時間で、お互いが認め合う大切なひと時でもあります。「車のことならお任せ!」「時間や数字の記憶で右に出る者なし!」「笑いをとるNO1!」などなど・・・。

時にはミーティングを繰り返し、食べたい物、行きたい所、したいことなどことばの表現にたよらず、思いをじっくりと引き出します。

ゆっくりが合っている人はそれなりに、せっかちな人もそれなりに、こだわりのある人は納得のいくように・・・、それぞれの人が自分の持つ力を出し切ろうと努力する場が、障がい者の作業所だと考えています。

作業所は「居場所」であると同時に「働く場」でもあります。人は何のために働くのでしょうか?対価を得るため?社会から認められるため?疑問に正解は出ませんが「作業所が好き!」「みんなと繋がっていたい!」という思いが伝わってくるのが作業所です。社会と繋がっていくことを実感し、自身の力を社会の中で生かす場として、「働く場」としての作業所を守り続けたいと思います。

最近「作業所ってどんなところ?」「じゃがいもの家では何をしているの?」「行ってもいいですか?」と声を掛けて頂くことも多くなりました。

嬉しいことです。「障がい者」ということばで包括されても、「障がい者という人」はいまませんし、一人として同じ人はありません。感情も意思も夢もある、素敵なキャラ(人格)の持ち主です。世界にたった一人の人間です。

兵庫県下の障がい者数は、277,694人(平成20年3月末現在)だそうです。障がいのことばは付かなくても不自由さを抱えながら生活している人もあるはずです。

私たちの住む地域は、障がい者を意識した優しい環境になっているのでしょうか?車椅子の人や目の不自由な人が一人で外出したら、困ることは無いのでしょうか?知的障がいの人分かるような絵や図・ルビの付いた看板や説明は十分でしょうか?どうしようもなく気持が落ち込んだ時、相談できる所はありますか?一緒に住む意識は障がい者だけでなく、バギーの人(子育て中の人)や高齢者にも優しいはずです。物的環境も意識も今一度見直してみたいものです。

国連の「障害者権利条約」には、「不作為(何もしないこと)は差別」との内容の一文もあります。「障がい者」「バリアフリー環境」「ユニバーサル社会」など、優しいことばの次の一步を、私自身踏み出して行きたいと思います。

#### 【片山 操代さんのプロフィール】

現在、「じゃがいもの家」の所長をされています。

「じゃがいもの家」はNPO法人三木市手をつなぐ育成会が運営している小規模作業所です。





日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	水		17	金	経営相談
2	木	習字教室	18	土	
3	金	経営相談・同和教育セミナー	19	日	休館日
4	土		20	月	休館日・海の日
5	日	休館日	21	火	経営相談・着付け教室
6	月		22	水	
7	火	経営相談	23	木	手芸教室
8	水		24	金	経営相談
9	木	手芸教室	25	土	茶道教室
10	金	経営相談・同和教育セミナー	26	日	休館日
11	土	茶道教室	27	月	歌謡教室
12	日	休館日	28	火	経営相談
13	月	歌謡教室	29	水	
14	火	経営相談	30	木	
15	水		31	金	経営相談
16	木	習字教室			

※ 習字は午後7時30分～、手芸・歌謡は午後1時30分～  
 茶道は午後7時00分～、着付けは午後7時30分～  
 経営相談は午前10時～午後4時

## お知らせ

- ★ 7月1日（水）から隣保館の使用料が有料になります。
- ★ 木・金曜日の夜間は、利用予約がない場合は午後5時をもって閉館させていただきます。  
 ご利用される場合は、利用日の3日前までにご予約をお願いいたします。

詳しくは職員に  
お尋ねください



総合隣保館はこちらです





# 隣保館だより

8月号 No.338 [21. 8. 1発行]

つなごう手と手

築こう心の架け橋を

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ

## 8月は「人権尊重のまちづくり推進強調月間」です

三木市では、毎年8月を「人権尊重のまちづくり推進強調月間」と定め、人権問題に対する意識の高揚と月間の周知を図るため啓発事業を実施します。



### ☆街頭PR活動

日時 8月8日(土)午前10時30分~11時30分

場所 ジャスコ三木店、三木サティ、コープ志染店、  
トーヨー志染駅前店、山田錦の郷

内容 のぼりの掲示、啓発用品の配布

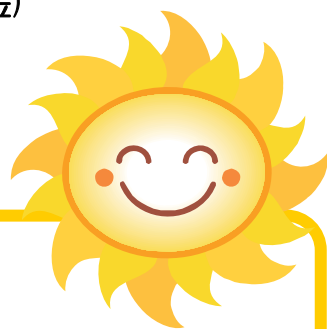


### ☆市民運動入賞作品展

日時 8月10日(月)~21日(金)

会場 市役所みっきいホール

内容 ポスター・標語の展示



## 市民じんけんの集い

日時 平成21年8月23日(日)午後1時30分~4時(受付:午後1時~)

会場 三木市文化会館大ホール

内容 市民運動優秀賞受賞者の表彰、人権作文優秀賞の朗読

パネルディスカッション「同和問題のこれまで、今、そして、これから」

## 同和教育セミナーを終了しました

平成21年度同和教育セミナーを6月26日、7月3日、7月10日の3回にわたって開催しました。

参加者からは、「人権問題の理解に役立った」「差別の実態を知ることができた」などの感想をいただきました。

多数のご参加ありがとうございました。



# 人権の小窓 ( 87 )

平成21年8月

## 学生の小論文と所見について

—祖母や母を説得できずくやしい！—

武庫川女子大学

名誉教授 安 達 五 男

私は「人権教育の研究」の講義の中で毎期三回、学生に小論文の提出を求めている。小論文というのは講義関連の資料をもとに各自で小テーマを決め、所見を付して提出させたものである。学生の提出する小論文では私の講義を通じて学生が何を学びとり、また、どんな問題に直面し、悩んでいるかを知るためであった。

### 1 私はくやしくて涙がでた —家族の根深い偏見—

愛媛県出身の学生Tさんの所見を紹介しよう。Tさんは、大学に来て友達に聞いてみて、人権教育（同和教育）を勉強したことがない学生の多いのにまずおどろいたと述べ、これでは差別がなくなるはずがありませんと記述している。以下Tさんの所見である。

中学生の頃、「私は本当にその人が人間的にすばらしい人で一緒に幸せになれるような人だったら『部落』とか関係なしに結婚する」と言いました。すると祖母は「親戚のこともあるし、もし、そんなことになったら許しません」と言いました。祖母に言っても、分かってもらえないので、今度は母に言いました。母はやさしく、「お母さんは、あなたが気に入った人なら何も言わないわよ。でもね。」そう言っておいて、「部落の人と結婚はできるだけやめてね。お母さんは許したとしても…、まだまだ根強い差別は残っているのよ…」と言いました。わが母ながら、はずかしいほど差別的な考えをもっている。私は親戚にこだわっている祖母や母に無性に腹がたちました。その時、私は、くやしくて涙が出ました。その涙は自分が祖母や母に分かってもらえるような説明ができなかった悔し涙があったと思います。今度家に帰った時、中学校の時にはできなかったことができるのかどうか今の私の課題です。

## 2 私は泣いて訴える友達を支える言葉すらもっていなかった

高校時代の友人Kさんから電話がかかってきて相談をもちかけられた。その相談というのは彼女の恋愛問題で、深刻に悩んでいた。被差別部落出身であった彼女は部落差別のことを余り気にしているようでも、負い目を感じているようでもなく、明るい性格の女性であった。

ことのはじまりは、彼女が両親に「今、私には好きな人がいてつきあっている」と言った時、両親が「相手の人はあなたが部落出身だという事知っているの」と言った。彼女は、「何で？そんなの関係ないやん。お互いに好きなだけだから」と反論していた。しかし、彼女の両親は「それでは駄目だ、ちゃんと説明し、相手の人に理解してもらっておかないと不幸になる」と話した。両親の説得のこともあり、彼女はその後、自分のことをすべて彼に話した。彼は高校の先生でもあり、部落問題についても理解があるはずだし、大丈夫だという自信のもとでの告白だった。

しかし、彼の反応は冷たかった。最初“えっ”というような表情で「本当なん」と尋ねた。彼女はまさかと思って、「やっぱり嫌、気になる？」と彼に尋ねた。「いいや、そんなことはない」と言ったきり、何も言わず口をつぐんでしまった。その日はそのまま、すぐに別れて家に帰った。彼女はそれでも彼を信じたい、“ぜったい理解してくれる”と自分に言い聞かせて彼からの電話をまった。二人のあいだにはその後何回かの電話連絡があったが、2ヶ月もしないうちにその電話も次第になくなり別れてしまった。

彼女はその苦しい時も一人で耐えようとした。どうしようもなくなって私にすべての成り行きを話してくれた。私は、こんなに悩み、苦しんでいる友達がいるというのに友達を支え、なぐさめる言葉すら自分にはないことを知った。自分はいままで何を学んできたのか。すごく情けないと思った。と同時に、絶対に差別なんか許すものか！という怒りがわきおこってきた。

### 【安達 五男さんのプロフィール】

兵庫県立高等学校教諭、兵庫県教育委員会指導主事、武庫川女子大学教育学科・大学院教授を歴任、現在、武庫川女子大学名誉教授

平成 21 年 1 月 人権擁護委員として法務大臣より感謝状を受ける

平成 21 年 7 月 三木市より自治功労者表彰を受ける



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	土		20	木	手芸教室・習字教室
2	日	休館日	21	金	経営相談
3	月		22	土	
4	火	経営相談	23	日	市民じんけんの集い・休館日
5	水		24	月	歌謡教室
6	木	手芸教室・習字教室	25	火	経営相談
7	金	経営相談	26	水	
8	土	茶道教室	27	木	
9	日	休館日	28	金	経営相談
10	月	歌謡教室	29	土	茶道教室
11	火	経営相談	30	日	休館日
12	水		31	月	
13	木				
14	金	経営相談			
15	土				
16	日	休館日			
17	月				
18	火	経営相談・着付教室			
19	水				

- ☆ 習字教室は午後 7 時 30 分から
- ☆ 手芸・歌謡教室は午後 1 時 30 分から
- ☆ 茶道教室は午後 7 時 00 分から
- ☆ 着付教室は午後 7 時 30 分から

## 夏休み課題図書



夏休み課題図書を購入しました。  
貸し出したしますので、多数ご利用ください。

### 小学校低学年の部

〇てとてとてとて 〇おこだでませんように

### 小学校中学年の部

〇しっばいにかんぱい！〇ちょっとまって、きつねさん！

### 小学校高学年の部

〇そいつの名前はエメラルド 〇オランウータンのジブシー

### 中学校の部

〇しあわせの子犬たち 〇風をおいかけて、海へ！

### 高等学校の部

〇ぼくの羊をさがして 〇マタギに育てられたクマ

〇春さんのスケッチブック 〇ヨハネスブルグへの旅

〇8分音符のプレリュード 〇時間をまきもどせ！

〇月のえくぼを見た男

〇夏から夏へ 〇縞模様のパジャマの少年 〇カレンダーから世界を見る

9月号 No.339

三木市立総合隣保館 TEL82-8388 FAX 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823[09. 9. 1発行]

ホームページアドレス <http://www.city.miki.hyogo.lg.jp/>市の施設総合隣保館のページへ

三木市立総合隣保館

ふれあい遠足・姫路科学館



プラネタリウムを見学したり、雲を作ったりしたよ  
みんなで食べたお弁当  
おいしかった！

## 夏休み子ども教室

ピザづくり



みんなで協力して作ったピザ！苦手なトマトや玉ねぎも自分たちで料理すればパクパクたべられたよ！！



うぐいすぶえづくり



子ども太鼓

総合隣保館では、今年も夏休みを利用して学校生活では体験しにくい活動を計画し、夏休み子ども教室を15日間開催しました。夏休み中の交通事故防止のための交通安全教室に始まり、最終日は腹話術・手品遊びと、さまざまな体験活動をしました。

特に、調理実習では、生地づくりから自分たちで行い、焼け具合を気にしながら個性豊かなピザができあがりました。お口いっぱいほおぼる笑顔には、ものづくりの達成感があふれ出ていました。

また、子ども太鼓では、初めて触れる太鼓に目をキラキラ輝かせ、友だちと息を合わせるこの楽しさを経験し、児童同士で喜び合っていました。

## 「市民じんけんの集い」ご参加ありがとうございました！

去る8月23日、三木市文化会館大ホールにて、「市民じんけんの集い」を開催いたしました。900人を超える多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。また、「同和問題のこれまで、今、そして、これから」をテーマとしたパネルディスカッションでは、コーディネーター・パネリストの方々からさまざまな貴重なご提言、ご意見もいただきありがとうございました。

# 人権の小窓

平成21年9月

( 88 )

あともどりはできない

— 格差の拡がりの中で —

兵庫県立加古川東高等学校教諭 井上浩義

経済がようやく回復するかに思えた昨年秋、突然始まった世界同時不況は、あっという間に全世界におよび、日本もその波をかぶることになりました。

この時期に実施されたアメリカ大統領選挙では、初の黒人大統領が誕生しました。かつてアフリカ大陸から黒人を連行し、奴隷として酷使し、差別・迫害してきた歴史からすると、画期的な出来事といえるでしょう。オバマ大統領は、「子どもたちが眠ったあと、自分たちはまんじりともせず、どうやって住宅ローンを払ったらいいのか、病院の請求書をどう払ったらいいのか、子どもの大学進学費をどうやって貯めたらいいのか、眠れずに途方にくれている母親や父親があちこちにたくさんいる」と、貧困や差別に苦しむ人々の目線に立った訴えを繰り返し、少数者が富を独り占めする社会のありように「ノー」を突きつけたのです。

一方、日本の社会状況を見てみると、経済的な理由から学ぶ機会さえ奪われている生徒が増えてきています。全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)の調査によると、私学に通う高校生の学費滞納は1校あたり約12人で、3カ月以上滞納している生徒は、08年9月末時点で全体の1.47%とされています。関西のある私学では、この3年間で5ポイントずつ奨学金を受ける生徒が増え、今は全体の半数にのぼり、それでも中退者が30人近く出て3年では1クラス減になったとのこと。

また別の統計調査は、公立学校に通う小中学生の教育費は、塾の費用を除いても1人当たり年間約40万円で、10年前から3割増加していると報告。国の就学援助が縮小傾向にあり、子どもや若者への援助は手薄で、家庭の負担感が増えています。日本では大学など高等教育費の負担が重く、家計に占める割合は53%と世界一なのです。さらに成績上位生徒の場合、親が低所得でもあっても、家計から無理をして教育費を出している実態があります。「金がなくても子は育つ」と言われたりしますが、学力や経済の「負の連鎖」は明らかです。つい先日、「親の年収が大

学進学率左右 200万円未満は28%」という報道がありました。いまますべての子どもたちに起こっていることは、教育不平等の拡大であり、ムラで起こっていることは、その矛盾の集中としての実態的差別ではないでしょうか。全国で進む学力格差の拡大が凝縮して現れていると思われてなりません。

学校現場にいと、ひとり親家庭や授業料免除、奨学金を申請する生徒の急増を目の当たりにします。兵庫では「実態的差別はほぼ解消された。あとは心理的差別の払拭だ」と言われ続けてきました。

特に事業法（地对財特法）が期限切れを迎えてからは、啓発の側面が重視されてきたように思います。しかし今、ムラの実態はどうなのでしょう。部落差別は「心」の問題のみで解決されるのでしょうか。高等教育を断念する若者が増え、また無理を重ねて大学を卒業しても正規雇用の道は険しく、結果、非婚化、少子高齢化を招いていく…。かつて、差別の悪循環と言われた状況に後戻りしてしまわないでしょうか。

私がまだ幼かった頃、特措法前夜のムラの雰囲気は、ある意味懐かしくもあるのですが、現在と違うのは、あの頃は高度経済成長期の活力がムラの中にもあったということ。

私たちは決して後戻りをしてはならないと思います。自殺や殺傷事件が多発し、差別事件にもつながり、弱い者がさらに弱い者を作り出し、たたいていく社会状況、教育、雇用を含めた生活実態を深く見つめ、具体的な活動をそれぞれの足元から起こさなければならないと思うのです。

#### 【井上 浩義さんのプロフィール】

- ・ 東播磨地区高等学校人権・同和教育研究協議会理事
- ・ 兵庫県立加古川東高等学校教諭

## 平成21年度人権フォーラムのお知らせ

今年度も人権フォーラムを下記の日程で開催いたしますので、多数ご参加ください。

詳しい内容につきましては、来月号でお知らせします。

日程	開催時間	場所
10月20日（火）	午後7時30分～ 午後9時00分	総合隣保館
10月23日（金）		
10月27日（火）		

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	火	経営相談	20	日	休館日
2	水		21	月	休館日・敬老の日
3	木	習字教室	22	火	休館日・国民の休日
4	金	経営相談	23	水	休館日・秋分の日
5	土		24	木	手芸教室
6	日	休館日	25	金	経営相談
7	月		26	土	茶道教室
8	火	経営相談	27	日	休館日
9	水		28	月	歌謡教室
10	木	手芸教室	29	火	経営相談
11	金	経営相談	30	水	
12	土	茶道教室			
13	日	休館日			
14	月	歌謡教室			
15	火	経営相談・着付教室			
16	水				
17	木	習字教室			
18	金	経営相談			
19	土				

- ◎着付・習字は午後7時30分から
- ◎手芸・歌謡は午後1時30分から
- ◎茶道は午後7時から
- ◎経営相談は午前10時から午後4時



## 敬老の日とは・・・



兵庫県多可郡野間谷村（現多可町八千代区）の門脇政夫村長と山本明助役が1947年（昭和22年）に提唱した「としよりの日」が始まりで、「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と農閑期にあたり気候もよい9月中旬の15日を「としよりの日」と定め、敬老会を開いた。これが、1950年（昭和25年）からは兵庫県全体で行われるようになり、後に全国に広がった。その後1966年（昭和41年）に国民の祝日「敬老の日」となった。

総合隣保館はこちらです





# 隣保館だより

つなごう手と手

築こう心の架け橋を

10月号 No.340 [21. 10. 1発行]

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ

## 平成21年度人権フォーラム

わたしのひとこと を開催します



日時及び会場	発表者（敬称略）	テーマ
10月20日（火） 19:30～21:00 総合隣保館	森 有 菜 志染中学校2年	私にとって家族とは
	寺 本 有 香 テアトロ三木	テアトロ三木との出会い
	高 橋 幸 枝	このごろ思うこと
	平 田 義 則 人権教育指導員	人権と人として生きること
10月23日（金） 19:30～21:00 総合隣保館	打 田 ほ の か 緑が丘東小学校3年	ちいさなゆう気でできる友だちのわ
	山 口 正 明 自由が丘小学校教諭	歌に綴る思い
	山 本 信 子 別所保育所	子ども達と共に
	木 澤 直 樹 サービスセンター三木東	地域におけるサービスセンターの役割について
10月27日（火） 19:30～21:00 総合隣保館	秋 口 茉 穂 緑が丘東小学校5年	心のとびら
	加 集 明 代 子 緑が丘小学校PTA	息子と共に
	田 中 俊 輔 学生	僕の思うこと
	戸 田 いく 代	さあ！これから

総合隣保館では、同和問題をはじめとする人権問題について、市民の方に経験や思いを發表していただき、ふれあいを図りながらお互いに認識を深め合うことを目的として、人権フォーラム「わたしのひとこと」を開催いたします。どうぞ、お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます

# 人権の小窓 (89)

平成21年10月

## 『私が私であるために ～介護の視点から考える～』

介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士

中村 すえ子

### 1. はじめに

「福祉は人なり」とは、古くて新しい業界用語である。それは、「人」が質であり、介護の質は人のあり方で左右されるといってもいい。そして、これは福祉人材を求める際のまた、介護の質を探索せんがための合言葉であり、不可欠要素である。

が一方、人を選んでいると今日の課題である介護人不足に拍車をかけ、背に腹はかえられない動きにもなる。

そのような中、外国人労働者の活動が報じられているが、私は、その導入が一概に負の影響を及ぼすとは思っていない。現に結果を残そうと努力している多くの人たちの報道に触れるたび、インタビューでの笑顔や目標を語る返答にエールを送りたくなる。

ただ、どこまで日本人の感性やその機微に迫れるかは、研修体制をはじめ個々の職場のこだわりが反映されてくるのは必至であり、関係者は危機感をもって対応しているのかと危惧する。

というのも、「介護の質」の確立が不十分な状態のまま、2000年4月介護保険制度が導入され、一気にといてもいいほど、施設・居宅を問わず介護は社会化され、介護サービス利用は権利として市民権を得、大量のサービスが流れこんだ。

その中で、一人ひとりの存在や個々の「今昔のころ」を見落とさない関わりが介護の姿勢の根幹に備わっているかどうかは、以前からの課題を引っ張っている。

既存の介護事業所のこの土台形成の確立を含め、人材養成が強く求められているのだ。

### 2. 「介護」がめざすもの

要介護状態に置かれた時、求めるものは「私が私で居続けられるか」否かであり、またその成就<sup>じょうじゆ ぜ ひ</sup>の是非は介護側の心豊かな人権意識のあり方にあるのではと考える。

そもそも介護の目標の最たるものに「自立支援」がある。それは、持ちうる機能をいかに発揮できることをめざす「身体的自立」、障がいをもったり、介護を要する状況になっても明日の発展を視座に“生きる力”への「精神的自立」等あるが、究極求めるは私が私でいられるべく「人間自律」であるのではと思う。

専門家は、『(介護専門職は)人生に自信と誇りがもてるよう、自立を助ける専門職である』(澤田信子氏)と著<sup>あらか</sup>している。そして、「介護サービス」は、介護を要する高齢者、障がい者の意思を尊重し、その人らしい、自立した生活を送れるように社会が支援することを目標にし、かつ介護を受ける立場であろうと「本人が主役」であると結んでいる。

つまり、利用者が主体者であるということは、高齢者、障がい者自身が長年の生活習慣や価値観を尊重されながら、介護サービスや自らの生活のあり方を選択できることを意味していると述べている。

また、忘れてならないのは、よりよく生きる (well-being) 日々であることであり、自己実現をめざせることである。

### 3. そのために

そのために、例え自己を主張できなくなっても、関係専門職は一人ひとりにいつも心を寄せ、同時に個々の当人史に迫り、また何よりそこに位置していることを尊厳をもって認め、専門的技術知識を駆<sup>く</sup>使<sup>し</sup>して対人援助に努めたいものだ。

それは「あたかもその人のように」近づくことであるともいえる。そして、言葉・態度・表情の一つ一つが力であり、願う気持ちをのせて対応したいものだ。

#### 【中村すえ子さんのプロフィール】

- ・ 昭和45年～旧温泉町役場事務職後、ホームヘルパーとして従事
- ・ 平成元年～社会福祉法人みかたこぶしの里 主任相談員(～平成18年退職)
- ・ 元 兵庫県ホームヘルパー協議会会長
- ・ 元 兵庫県介護福祉士会会長

# 隣保館カレンダー



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	木	習字教室	17	土	
2	金	経営相談	18	日	休館日
3	土	茶道教室	19	月	歌謡教室
4	日	休館日	20	火	経営相談・人権フォーラム
5	月		21	水	着付教室
6	火	経営相談	22	木	手芸教室
7	水		23	金	経営相談・人権フォーラム
8	木	手芸教室	24	土	茶道教室
9	金	経営相談	25	日	休館日
10	土		26	月	歌謡教室
11	日	休館日	27	火	経営相談・人権フォーラム
12	月	休館日・体育の日	28	水	
13	火	経営相談	29	木	
14	水		30	金	経営相談
15	木	習字教室	31	土	
16	金	経営相談			



★各教室の開始時間 ◎習字・着付教室は午後 7 時 30 分～ ◎手芸・歌謡教室は午後 1 時 30 分～  
◎茶道教室は午後 7 時～

## 子ども教室のバケツ稲 こんなに大きくなりました

実りの秋を迎え、隣保館周辺でも早稲の稲刈りが始まりました。6月に子ども教室で植えたバケツ稲（コシヒカリ）、子どもたちの背丈とかわらないほどに大きくなり、稲穂はすっかり黄金色に育ちました。どれだけのお米になるか楽しみです。



## 総合隣保館はこちらです



# 隣保館だより

つなごう手と手

築こう心の架け橋を

11月号 No.341 [21.11.1発行]

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ

## 第26回総合隣保館文化祭

12月5日(土) 6日(日)



交流餅つき大会



模擬店などの催物



隣保館教養講座他 作品展

### 6日の主な内容

- ・ 開会行事、記念講演
- ・ 催物(うどん他)
- ・ 日用品バザー
- ・ 人権劇、歌など

### 5日の主な内容

- ・ ふれあいゲートボール大会
- ・ 交流餅つき大会
- ・ ビデオ上映会
- ・ 子どもたち全員集合!!



記念講演

総合隣保館文化祭は、多くの人々が人権と差別について学び、交流する文化の祭典です。豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的に開催します。

詳細につきましては、文化祭パンフレット、ポスター、ホームページ等を通じてお知らせする予定ですので、多数ご参加ください。

# 人権の小窓 (90)

平成21年11月

## 『調査結果より見えるもの』

加東市人権・同和教育研究協議会会長

堀井 洋一

### 1. はじめに

加東市では、昨年度より「人権尊重のまちづくり基本計画」を策定中です。その基礎資料として「市民アンケート調査」を実施しました。その結果概要を以下に記します。

### 2. 主な内容・結果・考察

- (1) 「人権への親近感」：身近に感じている人は62%です。平成16年の県調査では47.7%なので人権意識はかなり高まってきています。
- (2) 「関心のある人権問題」：高い順に、高齢者、障がい者、女性、子ども、同和問題でした。平成16年の加東郡調査では、障がい者、同和問題、高齢者、子どもですから、「女性の人権」への関心が高まっています。
- (3) 「人権侵害」：受けた人が22.9%でした。郡調査では31.6%でした。相当低くなっています。人々の学習による意識の高まりが背景にあるものと思われます。
- (4) 「女性の人権」：問題点は、「男女の固定的な役割分担(40.6%)」「昇給・昇格の格差など職場での男女の待遇の違い」(38.3%)、「女性の社会参画のための就労環境や支援制度の不備」(34.6%)の順でした。現実には、まだ男女に対する固定観念が払拭できていないことが表れています。
- (5) 「子どもの人権」：問題点は、「親の子育て放棄」(49.2%)、「親の虐待」(37.6%)となっています。バランスよく子育てをされている親がほとんどですが、一部放任と過保護の親がおられることも事実です。親教育の充実が重要です。
- (6) 「高齢者の人権」：問題点は、「悪徳商法や詐欺などによる被害が多いこと」(43.6%)、「働ける能力を発揮する機会が少ない」(37.6%)の順で

した。現在、平均寿命が男女共延びて超高齢化社会です。高齢者自身の生きがいでなく、さらに社会的役割を果たすための支援が必要です。

(7)「障がい者の人権」：問題点は、「働ける場所や機会が少ない」(56.4%)、「社会復帰や社会参加への受け入れ態勢が十分でない」(42.4%)が目立ったところです。市場原理主義では問題は改善されません。行政の施策等での支援が求められます。

(8)「外国人の人権」：問題点は、「わからない」(31.8%)、「就職時や職場で不利な扱いを受ける」(26.8%)、「年金、健康保険など社会保障で不利な扱いを受ける」と「日常生活に必要な情報を分かりやすく伝える配慮が足りない」が24.6%となっています。今後、益々国際化が進展します。実態等を学ぶ機会を多く設定することが重要です。

(9)「インターネットによる人権侵害」：問題点は「他人へのひぼうちゆうしょう誹謗中傷や差別的な書き込み」(64.8%)、「犯罪を誘発する場となっている出会い系サイト」(43.1%)が主でした。情報化社会負の部分の新たな課題です。規制等も整いつつありますが、基本的にはリテラシーとモラルの問題ですから家庭や学校等の教育が重要です。

(10)「同和問題」：問題点は、「結婚での周囲の反対」(36.3%)、「特に起きているとは思わない」(25.6%)、「身元調査を実施すること」(20.2%)となっています。差別が見えにくくなっていますが、今後も重要な学習課題として継続した学習が必要です。

### 3. おわりに

自他の人権が大切にされる社会は、老若男女、心身のハンディの有無や出生地を問わず、全ての人が幸せに暮らせる社会です。そのためには、我々一人ひとりの地道な学習と実践が何より重要です。その先に人権文化に満ちた地域やまちが出現します。

#### <堀井洋一さんの経歴>

元小野市内の小・中学校長

現在、加東市人権・同和教育研究協議会会長

加東市「人権尊重のまちづくり基本計画」起草委員会・策定委員会委員長

隣 保 館 カ レ ン ダ ー



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	日	休館日	17	火	経営相談・着付教室
2	月		18	水	
3	火	休館日・文化の日	19	木	習字教室
4	水		20	金	経営相談
5	木	習字教室	21	土	
6	金	経営相談	22	日	休館日
7	土		23	月	休館日・秋分の日
8	日	休館日	24	火	経営相談
9	月		25	水	
10	火	経営相談・歌謡教室	26	木	手芸教室
11	水		27	金	経営相談
12	木	手芸教室	28	土	茶道教室
13	金	経営相談	29	日	休館日
14	土	茶道教室・三同教研究大会	30	月	歌謡教室
15	日	休館日			
16	月	歌謡教室			

★各教室の開始時間 ◎習字・着付教室は午後7時30分～ ◎手芸・歌謡教室は午後1時30分～  
◎茶道教室は午後7時～



1948年（昭和23年）に制定された祝日法（国民の祝日に関する法律）によって、戦争放棄・主権国民・基本的人権を宣言した日本国憲法に基づき、「自由と平和を愛し文化を薦める」祭日と定められ、『文化の日』と名づけられました。日本国憲法の尊重する、平和への意思を基盤とする文化を発展・拡大させようという趣旨です。



- 1 とき 平成21年11月14日（土）  
午後1時30分～4時30分  
（受付午後1時～）
- 2 ところ 三木市文化会館他
- 3 テーマ 基本的人権を尊重する気運を高めるとともに、部落差別をはじめあらゆる差別を解消する教育内容を構築しよう
- 4 主催 三木市人権・同和教育協議会
- 5 後援 三木市、三木市教育委員会



# 隣保館だより

つなごう手と手

12月号 No.342 [21. 12. 1発行]

築こう心の架け橋を

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ

## 第26回 総合隣保館

# 文化祭

さあ!  
文化祭に行き  
ましょう



『つなごう手と手 築こう心のかけ橋を』

あす  
ひびきあう 心をのせて 新たな未来へ

**12月5日(土)** 午前9:00～  
午後8:30

**12月6日(日)** 午前9:00～  
午後4:00

お餅つきが  
あるんだよね!  
ふれあいバザー  
も!楽しみ!



記念講演

テーマ 『21世紀と人権』

～人権システム創造のために～

講師 近畿大学人権問題研究所  
教授 北口 末広さん

会場

三木市立総合隣保館・三木市立志染保育所・東吉田集落センター・吉田児童遊園

【主催】総合隣保館文化祭実行委員会・三木市立総合隣保館

【後援】三木市／三木市教育委員会／三木市人権・同和教育協議会  
志染地区人権・同和教育推進協議会

総合隣保館は、「つなごう手と手、築こう心のかけ橋」をテーマに、12月5日(土)、6日(日)に文化祭を開催いたします。記念講演会をはじめ、ふれあいゲートボール大会、人権劇など多彩な催し物や発表、展示が行われます。多くの市民の皆様楽しく交流を図っていただければと思います。皆様お誘いあわせのうえお越しくくださいますようご案内申し上げます。



# 人権の小窓 (91)

平成21年12月



## 『シルクロード最西の地にて』

三木市人権教育指導専門員 井口 徹

トルコの敬虔<sup>けいけん</sup>なイスラム信者であったホジヤという人にこんな話がある。

ある日、ホジヤが<sup>りょう</sup>猟に出て数羽のうずらをしとめ、羽をむしり、料理して友だちを呼びにでかけた。その間に誰かが来てそれを持ち去った。そのかわりに生きたうずらを鍋に入れておいた。友だちと一緒に帰ってきたホジヤは自慢しながら、鍋の蓋<sup>ふた</sup>を開けたところ、うずらは窓から飛び立ってしまった。

それを見てホジヤが言った。「死んだものを生きかえらせるとは、なるほど、神様はすばらしい。ところで、あの油と、塩と、こしょうは何処へ行ったんかいな。」

この話を読んで、ホジヤさんの<sup>きしつ</sup>気質もさることながら、盗んでいった人の心情までうかがえて、トルコ人にそこはかたない親しみを感じた。どこか日本人に似ている。日本でこういう有名人を探すとすると、トンチという意味で私は<sup>あ</sup>敢えて一休さんではないかと思う。いずれにしてもそんなトルコ人に出逢いたくて、この秋トルコを訪ねてみた。私の旅行にはもちろん他にも目的があった。例えば、アジアとヨーロッパを隔つ<sup>へだ</sup>シルクロードの最西といわれているイスタンブールのボスボラス海峡、シュリーマンの発掘したトロイの遺跡、そして、カツパドキアに住む人々の対話等々。私の欲求はあまりにも欲張り過ぎているのだが、何よりも親日性<sup>しんにちせい</sup>において世界一といわれている国の実状とその確認は年来の夢でもあった。それらはほとんど裏切ることなく私の想像していた、あるいはそれ以上の収穫があった。

失望もあった。トルコはあの帝政<sup>ていせい</sup>ロシアの<sup>あっせい</sup>圧政にあえいでいた時、東洋の小国日本を側面から支援し、日露戦争を大勝利に導いた。その時の感動と感激から、息子や孫に「トウゴウ」「ノギ」と名付けたり、「東郷通り」「乃木通り」といった地名ま

でつけたと聞いていたが、それらの通りを見つけることは遂に出来なかったし、人々はそれを忘れていた。もっと時間があれば突き止めることが出来たかもしれないが……。

ただ明治23年(1890)9月16日、「土日友好の秘話」として有名なエルトゥール号遭難事件については、私の出会ったほとんどの人が知っていた。それもそのはずで、小学校五年生と高校の社会の教科書に今でも載っているということだ。その約百年後、イラン・イラク戦争においてトルコはその時の恩を忘れず見事に返してくれた。

通りで、店で、駅で、カフェで、いろいろな人に取材した。その度ごとに「ホジヤ」さんと出会った。そのうちカツパドキアの洞窟に住む人を訪ね、チャイ(トルコの茶)をよばれながら話をする機会を得た。日々の生活の話や風俗、風習、はては生活の糧<sup>かて</sup>まで話しているうちに、居間のみずやの奥に色紙細工のような日本人形がひっそりと置いてあるのに気付いた。日本に行ったことがあるのですかと尋ねてみた。いいえと怪訝<sup>けげん</sup>な顔をして言う。人形を指さすと、観光客の一人が贈<sup>しいた</sup>ってくれたのだという。洞窟に住む人達は虐<sup>しいた</sup>げられた人たちだそうだが、差別があるからとは言わない。あなた方と違って生活が貧しいので日本へは行けませんと悲しい顔をする。それでも彼は近くにいる子供たちを見て、息子や孫が行くかも知れません。日本はトルコに似ていると聞きます。瀬戸内海はエーゲ海よりも美しいらしい。そう言って笑顔をつくる。美しい笑顔だ。ここにも「ホジヤ」さんがいた。

【井口 徹さんのプロフィール】

- ・平成20年4月より三木市人権教育指導専門員



## 第61回人権週間 12月4日~10日

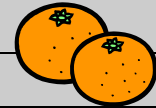
みんなで築こう人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

＜人権相談日＞ と き： 12月4日 午後1時～4時  
ところ： 三木市市民相談室・緑ヶ丘町公民館

と き： 12月10日 午後1時～4時  
ところ： 三木市吉川町公民館

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	火	経営相談	17	木	習字教室・手芸教室
2	水	着付教室	18	金	経営相談
3	木	手芸教室・習字教室	19	土	茶道教室
4	金	経営相談	20	日	しめ縄作り
5	土	第26回文化祭	21	月	歌謡教室
6	日	第26回文化祭	22	火	経営相談
7	月		23	水	休館日・天皇誕生日
8	火	経営相談	24	木	
9	水		25	金	経営相談
10	木		26	土	フラワーアレンジメント
11	金	経営相談	27	日	休館日
12	土		28	月	
13	日	休館日	29	火	休館日
14	月	歌謡教室	30	水	休館日
15	火	経営相談・着付教室	31	木	休館日
16	水		1月3日まで休館です。		



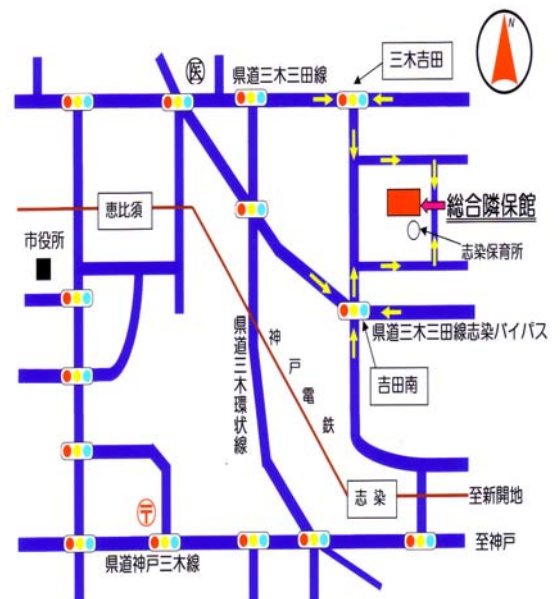
★各教室の開始時間 ◎習字・着付教室は午後7時30分～ ◎手芸・歌謡教室は午後1時30分～  
◎茶道教室は午後7時～

## フラワーアレンジメント案内

「新しい春を迎えましょう」をテーマに  
フラワーアレンジメント教室を開催します。  
是非ご参加ください。

隣保館はこちらです

- |   |     |                                   |
|---|-----|-----------------------------------|
| 1 | とき  | 12月26日(土) 午後1時30分～                |
| 2 | ところ | 総合隣保館 大会議室                        |
| 3 | テーマ | 「新しい春を迎えましょう」                     |
| 4 | 講師  | 田中真紀さん                            |
| 5 | 会費  | 5,000円                            |
| 6 | 準備物 | 花器                                |
| 7 | 申込み | 12月21日(月)までに総合隣保館へ<br>TEL 82-8388 |



# 隣保館だより

つなごう手と手

築ごう心の架け橋を

1月号 No.343 [22.1.1発行]

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ



文化発表

12月5日、6日に開催しました文化祭には多数ご参加いただきありがとうございました。  
交流もちつき大会、囲碁ボール、人権劇など多世代交流ができ、実り多い文化祭となりました。

今年も、総合隣保館は地域の皆様と一体となり活動してまいりますのでよろしくお願いいたします。



記念植樹

平成22年  
(2010年)



寅



囲碁ボール



交流もちつき大会



展示コーナー

# 人権の小窓 (92)

平成22年1月



## 『あの日の思い』



イラストレーター キム ソン ジュン  
金 成 俊

こんにちは、キムソンジュン金成俊と申します。

誰?と、お思いになられる方が大半だと思いますので、簡単に紹介させていただきますと、(現)兵庫県のマスコット「はばタン」の原作者です。(笑)

名前から察しが付くように、僕は日本国籍を有していない外国人です。

と言っても、日本で生まれ育った在日コリアン3世で、現在は神戸市在住でデザインやイラストの制作などをやっています。

本当にこの数年間を思い起こすといろいろな体験をしました。

兵庫県に住むようになって15年になりますが、やはり阪神淡路大震災を経験したことは僕の人生観を一変させるのに十分な経験でした。

兵庫県下で今も多くの方々から親しまれている「はばタン」の誕生もその経験が関係しています。

当時、僕は東灘区で一人暮らしをしながら外国人学校の教員として働いていました。

1995年の1月17日・・・早朝。

こうおん轟音と共に天地がひっくり返ったような揺れの最中何が起こったか理解する間もなく本当に死を覚悟しました。

大きな揺れが収まってどうにか部屋から脱出した僕の目の前には見慣れた風景は無く、見たこともないじごくえす地獄絵図が広がっていました。

鉄道の線路はあめざいく鉛細工のように曲がりくねって高架は崩れ落ち、国道43号線に出てみると高速道路すらも倒壊・・・

近所では悲痛な泣き声と叫び声、そして鳴り響くサイレンの音。

火事も起こっており物の焼ける異臭・・・

15年経った今も鮮明せんめいに記憶に残っています。

そんな中、何をどうすればいいのかわからないまま、無我夢中むがむちゆうで近所の方々と救助活動や消火活動に参加していました。

そして夕方から勤務していた学校に向かって歩き始めました。

交通手段はおろか道すらもまともじゃない状態の中、数時間かけて学校に到着するとそこには既に沢山たくさんの方々が避難していました。

当初、学校は避難所に認定されていなかったため、救援物資も届かない状況でしたが、そこには国籍の壁を越えて沢山の方々が、お互い協力しながら不安な日々を乗り越えようとする姿がありました。

それまでは、近隣の住民の方々との交流もあまり無く、お互い距離をおいて接していた関係が一変して、震災からの復興という共通の目的に向かって協力している姿はとても力強いものでした。

まさに震災という非日常的な状況の中で見えた一筋の光でした。

協力し合って生まれる力の大きさはとても大きいものだと言感しました。

また、僕自身も沢山の方々に支援していただいた恩を返したいとの想いを常々もっていました。

そして数年後に「はばタン」が震災から復興する兵庫をイメージした不死鳥ふしちょうをモチーフにして生まれる事となったのです。

誕生には、国籍を超えた沢山の方々の協力が無ければ生まれてなかったと思います。

おかげさまで沢山の方々に可愛がられるキャラクターとなり、その時支援いただいた方々に恩返しとはいかなくとも、若干の喜びはお伝えできたのではないかと考えています。

「はばタン」にはそんなあの日の想いが込められています。



キムソンジュン  
【金成俊 さんのプロフィール】

- ・愛媛県出身の在日コリアン三世で、神戸市在住 38歳。
- ・イラストレーターとして活躍中。
- ・彼のスケッチブックから誕生した一羽のフェニックス（不死鳥）が2003年1月17日、のじぎく兵庫国体のマスコットキャラクターに決定した。

# 隣 保 館 カ レ ン ダ ー



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	金	休館日・元旦	17	日	休館日
2	土	休館日	18	月	歌謡教室
3	日	休館日	19	火	経営相談
4	月		20	水	
5	火	経営相談	21	木	習字教室
6	水		22	金	経営相談
7	木	習字教室	23	土	茶道教室
8	金	経営相談	24	日	休館日
9	土	茶道教室	25	月	歌謡教室
10	日	休館日	26	火	経営相談
11	月	休館日・成人の日	27	水	
12	火	経営相談	28	木	手芸教室・着付教室
13	水		29	金	経営相談
14	木	手芸教室	30	土	
15	金	経営相談	31	日	休館日
16	土				

★各教室の開始時間 ◎習字・着付教室は午後7時30分～ ◎手芸・歌謡教室は午後1時30分～  
◎茶道教室は午後7時～

## 成人の日



新成人たちが両親や周りの大人たちに保護されてきた子ども時代を終え、自立し、大人の社会へ仲間入りすることを自覚するための儀式（成人式）を行う日です。  
1948年、戦後物資も食料も足りない時代で、一番乏しいとされていたのは「人材」でした。よい「国家」を作っていくためには、国民自身が成長していかななくてはならない、と考えた当時の役人達は、「こどもから大人になった自覚を持ってほしい」と願ってこの日を祝日にしたそうです。



## 男女のスキルアップセミナー

木島 久恵さんのプロフィール

青年海外協力隊として約2年間中米ニカラグアに赴任  
市内の道路舗装工事や下水道管建設などの仕事に携わる

と き：2月20日（土）午後1時30分～3時00分

と ころ：三木市立教育センター（4F大研修室）

タイトル：「ふるさとのすばらしさを海外に」  
～青年海外協力隊の体験をとおして～



# 隣保館だより

つなごう手と手

築こう心の架け橋を

2月号 No.344 [22.2.1発行]

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ



今年もなかよく元気に  
いろいろなことに挑戦するぞ!!



あがった あがった  
ぼくの凧!

子ども教室にて



とんど焼き



字が上達するといいな  
みんなが元気で仲良く暮らせると  
いいな



すごいよ すごい  
ぼくもがんばる!!

年が明けて初めての子ども教室は、凧づくりをしました。ビニール袋と竹を使い、子どもたちは思い思いに絵を描き、個性豊かな凧が出来上がりました。

隣保館前の田んぼで、子どもたちは寒さを忘れ、冷たい風にも負けず、凧揚げをしました。「あがった、あがった! ぼくの凧見て、あんなにあがったよ!」と声を掛け合い楽しんでいました。

恒例のとんど焼きでは、子どもたちと地域の方々で作ったしめ縄と、子どもたちの書初めをとんどで焼き、字の上達と今年一年みんな元気で仲良く暮らせるようをお願いしました。

# 人権の小窓 (93)

平成22年2月

## 『祖母と青春』

元三木市立総合隣保館スーパーアドバイザー 山口 公博

昨年十二月、母方の祖母の二十五回忌法要が従弟の家で催され、出席させてもらった。米寿目前に老衰で亡くなったのだが、お供えで飾られている顔写真はだいぶ若く、髪の毛がふさふさしている。祖母自身が六十歳頃から用意をしていたものだという。「ちゃんと準備をしていたら長生きするんやなあ」と従弟が言う。亡くなる前日の夕食時には、ひ孫とすきやきの肉を取り合ったという祖母、あっぱれな人生の退場にあやかりたいと考えているので、私も写真を準備しなければならないか。

私の在所は、『尼崎の農業を語る 262』（尼崎市立地域研究史料館編）で、「正月用の注連縄は正月前の副業、主体は草履作り」との聞きとりが紹介されている。

「はったい粉」についても紹介がある。「裸麦を煎り、製粉機にかけてはったい粉にした。カンカン（ブリキの衣装缶のようなもの）に入れて、牛に引かせて朝早くから神戸市の長田や灘方面の住宅地で「はったい粉オ、はったい粉オ」と言いながら行商をしていた。一升瓶にフッと入れるのが上手に売るコツ、詰めると粉なので損をする。わら草履を作らない人がはったい粉売りをしていた。この村だけの副業。煎っただけのものが麦茶。

中学一年生の冬休みに、祖母について注連縄売りを手伝った。家庭用の大根じめで、稲穂のついた前垂れがあり、紙垂、うらじろ、その上部のだいたいは紅白の水引きで結わえ付けられている。わらは青みがあった。

十二月二十八日、叔母に作ってもらった弁当を持って、注連縄売りに出かけた。「肩引き」と呼んだ牛に引かせてもいい長い梶棒の荷車に、注連縄と祖母を積んで、従兄と二人で引いた。

夏にはったい粉売りで廻った所に近づくと祖母は荷車から降りて歩き出す。

どんな目印があるのか次々と門の中に入っていく、客と共に出てくる。客は私達二人を見て、「お孫さん？そう、おばあちゃん幸福やね」と言う。祖母の無言の愛想笑い。「おばあちゃんの注連縄はしっかりしていると主人も感心してますのよ、来年も又来てね。あっそうそう、夏には麦茶とはったい粉を持ってきてね。主人が楽しみにしてるの」と言葉をかけられても、祖母は「へえ、おおきに」とだけしか言わない。得意先をがっちり<sup>つか</sup>と掴んでいることに、従兄と感動するのだが、なかなか昼食にならないのが不満になってくる。

店の前が広く「肩引き」を停めてもゆとりのある食堂まで来て、お昼となった。

きつねうどんを注文し、叔母<sup>おば</sup>の持たせてくれた弁当箱をあける。普段学校に持って行っているブック型でなく、その倍は厚みのあるご飯のみの箱には、ご飯とご飯の間に焼いてしょう油を含ませたスルメが敷きつめられてある。冷たいと感じるのは口に入れた時だけで、噛んでいるとえもいわれぬ甘みがご飯とスルメから出てきた。そしてきつねうどん、だし汁とあげがうまい。

いまだに私は、きつねうどんには冷たいご飯が好物である。ただスルメだけは残念ながら歯がたたなくて悔しい思いをかこっている。

二十九日も市内を廻り、三十日と三十一日は通っている小学校近くの市場の前で売った。「おまえ、恥ずかしくないのか？」と祖母は聞いてくれたが、全くそんな気持はなかった。

注連縄は叔父が「母親の半年分の小使いに」と作っていたことを法事の席で教えられた。

私は、草履も注連縄も作れない。一度だけで、地元の文化祭行事として草履作りがあって参加してみたが、講師役の女性から「あんた、ほんまにうちのむらの子か」と笑われた。

写真におさまっている祖母の年令に私はなっている。法事後の食事の席で祖母からすれば玄孫が走り回っている。

生命のリレーが続いているのだから、注連縄売りの私の経験も、話せる機会があることだろう。

#### 【山口公博さんプロフィール】

- ・ 元尼崎市職員
- ・ 元三木市立総合隣保館スーパーアドバイザー



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	月		15	月	
2	火	経営相談	16	火	経営相談
3	水		17	水	
4	木	習字教室・手芸教室	18	木	習字教室
5	金	経営相談	19	金	経営相談
6	土	茶道教室	20	土	茶道教室
7	日	休館日	21	日	休館日
8	月	歌謡教室	22	月	歌謡教室
9	火	経営相談	23	火	経営相談
10	水		24	水	
11	木	休館日・建国記念日	25	木	着付教室・手芸教室
12	金	経営相談	26	金	経営相談・フラワーアレンジメント
13	土		27	土	隣保館研修会（フィールドワーク）
14	日	休館日	28	日	休館日

★各教室の開始時間 ◎習字・着付教室は午後7時30分～ ◎手芸・歌謡教室は午後1時30分～  
◎茶道教室は午後7時～

## フラワーアレンジメント教室のお知らせ

ひなまつりをテーマに下記のとおり

フラワーアレンジメント教室を開催いたします。やってみたいと思われる方は、是非ご参加ください。

- 1 と き 2月26日（金） 午後7時30分から
- 2 と ころ 総合隣保館・2階会議室
- 3 テ ー マ 「ひなまつり」
- 4 講 師 田中真紀さん
- 5 参 加 費 3,500円
- 6 準 備 物 花器（少しちいさめ）・はさみ
- 7 申 込 み 2月22日（月）までに総合隣保館



TEL: 82-8388

- と き: 2月20日（土）  
午後1時30分～3時00分  
と ころ: 三木市立教育センター（4F大研修室）  
タイトル: 「ふるさとのすばらしさを海外に」  
～青年海外協力隊の体験をとおして～  
講 師: 木島 久恵さん（元青年海外協力隊）

## 男女の スキルアップ セミナー

\*「2009みきヒューマンライツ学びの証賞」対象講座（最終）になります。  
今年度、対象講座に5回以上ご参加いただいた方は、受講証を総合隣保館（もしくは市役所人権推進課）までご提出ください。

# 隣保館だより

つなごう手と手

築こう心の架け橋を

3月号 No.345 [22. 3. 1発行]

三木市立総合隣保館 Tel 82-8388 Fax 82-8658

〒673-0501 三木市志染町吉田823

ホームページアドレス <http://www.city.miki.lg.jp/>施設ガイドから総合隣保館のページへ

三木市男女共同参画センター  
三木市立総合隣保館  
共催セミナー

## 風をきって走る！わたしとマラソン ～走りつづけるために～

マラソンランナーの田中千洋さんからの  
さわやかな風をキャッチしませんか？

日 時：平成22年3月20日（土）  
午後1時30分～午後3時30分

会 場：三木市立総合隣保館

講 師：田中 千洋（たなか ちひろ）さん



参加無料  
どなたでも参加できます

小野高校時代には、3年連続で兵庫県高校駅伝のアンカーを務め3度の優勝に貢献。また、'97、'03の北海道マラソンでは優勝を果たすなど、現在も2児の子育てをするかわら第一線のランナーとして活躍中。

家事に、育児にマラソンに・・・人生をフル回転で生きる女性、田中千洋さんのお話を聞いてみませんか？きっと元気が出ると思います。

## ふるさとのすばらしさを海外に

～青年海外協力隊の体験をとおして～

2月20日（土）に元青年海外協力隊員の木島 久恵（きじま ひさえ）さんを講師としてお招きしました。約2年間の中南米ニカラグア共和国での女性隊員としての活動、現地の社会環境や生活環境などを話していただきました。多数のご参加ありがとうございました。



三木市立教育センターにて

# 人権の小窓 (94)

平成22年3月

## 『 体験を伝える 』

伽耶院住職 岡本 孝道

昭和30～40年代、被差別部落の人たちは生活環境の改善を求めて連日の要求行動を続けていた。連日行動に参加する中で、生活環境だけでなく、教育の問題など自分たちの問題をきっかけとしてそれを全体の問題に行かねば、という方向性や、何はともあれ自分も動かねば、といった雰囲気<sup>ふんいき</sup>が人々の間に着実に大きくなっていく感じだった。

私たちは懸命<sup>けんめい</sup>に動いている人を見た時、自分も何かしなければ、という思いにかられる。親たちの連日の行動を目のあたりにしている子どもたちにも大きな変化が生まれていた。当時私が勤務していた三木高校では、通常のホームルーム以外に差別について考える週一回の同和ホームルームがあった。一学期に一回や二回の人権学習なら思いやりの心を持ちましょうといったキレイごとを言っていたらそれで終わる。週に一回となると本音もポンポン出てくる。当然差別的な発言もいっぱい出てくる。そんな中で、クラスに二・三人しかいない被差別部落の子どもたちは必死にがんばった。生徒会執行部<sup>しゅっこうぶ</sup>でも子どもは突出<sup>とっしゅつ</sup>していた。彼らは村での学習会を繰り返す中で話し合いの進め方や人への訴え方<sup>うった</sup>をいつの間にか身につけていた。急速に変っていく子どもたちの成長の支えは、村の青年や親たちの懸命に頑張っている姿だった。

先日ある方がおっしゃった。「この頃部落のモンが部落のことを口にせんようになってしもうた。わしら部落の旗おし立てて必死に走って来たんやけどな」と。長年にわたる努力の結果、部落の生活環境は一般地区と殆んど<sup>ほと</sup>変わらない状況にまで向上した。とはいうものの部落差別がなくなった訳<sup>わけ</sup>ではない。

平成19年の初秋、私は一つの結婚式に招かれた。花嫁のご両親や親族の方々の参列がない結婚式だった。

そこに至るまでにはいろんなことがあった。かつてT高校で教えたA君が女性と一緒にやってきた。そして赤ちゃんが出来、二人は生みたいのだけれど、女性のご両親がA君の今の仕事が正社員ではないことを理由に結婚はダ

メだ、生むな、と言われる。何とかお願いをしようとするのだが会うこと自体を拒否されていて、まだ一度も両親とは会えないままなのだという。

女性が心を決めてくれているのなら、男性としては日参してでも親御さんと会う機会を作って、自分がどんな人間なのか認めて貰うことがまず第一だ、ガンバレ、と言って帰した。5日後、今度は彼だけがやって来た。女性の親から切迫流産してしまった、以後の連絡は一切お断りする、との電話があったという。切迫流産が何を意味するのか凡よその見当はつく。しばらくはそっとしておこう、とりあえず何とかして彼女にこれを渡して欲しいと私は手紙を書いた。その中で私は以前三木であった一つの例——六年間にわたるねばり強いやりとりの結果、反対していた女性側の親が、六年間私も苦しんだし勉強もした、今迄の態度はお詫びしても消えないけれど、と手をついてあやまって下さったという例を紹介したあと、次のように書いた。

「……あなたは部落のことは気にしていないと言いました。私は部落問題への取組とは、気にしないとか部落の立場を理解するとかいうだけではないと思います。もし彼が一般地区の人間だったら二人の愛はこだわりなく祝福されます。そして彼はいい人よと皆に胸をはって言える人間です。だのにどうして頭から反対されるのか、そんなのおかしい、という心こそが取組の第一歩だと思うのです。(略) 親や親戚からは袋だたきにされるだろうけれど彼との生活を、と思うのであれば、一度ここに紹介したお家を訪ねてみてはと思います。きっと大きな勇気を与えて頂けると思います。悩んだ拳句、私まだそこまで強くなれない、いつの日か、あの時はごめんね、私まだ弱かったの、と話し合えるよう勉強します。そう言っておつき合いを断つのも一つの生き方です。(略) 何れの道を選ぶにせよ悩みぬき苦しみにぬく地獄の中でこそ人間の成長は生れてくるものだと思います。苦しいでしょうけれど(後略)」

その手紙から5年の月日がたっていた。結婚式の席上私が、よう頑張った、と挨拶させて頂いた時、彼女は泣いた。

文中で紹介した方が言われます。部落のモンが部落のこと口にせんでもええようになったと嬉ぶべきなんやろか、けどそれではあとを背負ってくれる子は育たん。苦しかったこと、悲しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったこと…を伝え続けていかなあかんねん、これはどこの家でも同じことや、と。

【岡本孝道さんプロフィール】

・元三木市人権教育指導員

・伽耶院住職

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	月		17	水	
2	火		18	木	習字教室・着付教室
3	水		19	金	経営相談
4	木	習字教室	20	土	共催セミナー・茶道教室
5	金		21	日	休館日・春分の日
6	土		22	月	休館日・振替休日
7	日	休館日	23	火	経営相談
8	月	歌謡教室	24	水	
9	火	経営相談	25	木	手芸教室・着付教室
10	水		26	金	経営相談
11	木	手芸教室	27	土	
12	金	経営相談	28	日	休館日
13	土		29	月	歌謡教室
14	日	休館日	30	火	経営相談
15	月		31	水	
16	火	経営相談			

# 平成22年度 教養文化講座生の募集

隣保館では、22年度下記の講座生を募集しております。  
 関心のある方はぜひ参加してみてください。  
 お問い合わせは、総合隣保館（Tel 82-8388）までお願いします。



教室名	日時	講師
習字教室	第1・3木曜日 19:30~21:30	井上 進さん
茶道教室	第1・3土曜日 19:00~21:00	杉本さわゑさん
着付教室	第3木曜日 19:30~21:30	小西 修子さん
手芸教室	第2・4木曜日 13:30~15:30	嶋田千津子さん
歌謡教室	第2・4月曜日 13:30~15:30	黒田和彦さん

## こちらが総合隣保館です



\*開催日時は諸事情により変更になる場合があります。